



たかやま

令和6年度 第10号

発行日：R7.2.17

発行元：高山小学校

文責：校長 東 忠孝

今年は例年より一日早い立春でしたが、途端に今年一番の寒波の襲来により、高山小は一週間雪に覆われました。また、今週も寒波が来る予報になっています。ここ何年か温暖化の影響か雪の少ない冬だったので、今年のようにしつかり降雪があると、環境への対応能力を問われているような気がします。気になるのは、あまりにもカメムシの姿がないことで、うれしくもあり心配でもあります。……といったところです。

さて、早いもので今年度も残すところ三十五日となりました。今年度のしめくりと来年度に向け、一日一日を大切に過ごしたいと思います。



PTA親子活動（文化部主催）

一月二十三日（木）授業公開の後、PTA文化部主催の親子活動が行われました。今年は四チームに分かれての『大かるた大会』です。五十人以上が安全に楽しめるよう工夫され、楽しむことができたと思います。読み札には地域の名所等が紹介されていましたが、内容を聞くというよりも読み終わってからの笛の合図に耳を澄ましていた様子でした。文化部の皆さん、ありがとうございました。



生徒指導（児童理解）の取組

一月末大変ショッキングなニュースが報道されました。「小中高生の自殺が最多五二七人（前年比十四人増）」で、統計を取り始めた一九八〇年以降で過去最多となった」という内容です。また、十月末の新聞報道では、全国の小中学校や高校などで二〇二三年度に認知されたいじめは、過去最多の七万二千五百八件だったという統計結果が公表された。

高山小学校では、普段の観察や声がけ以外にも、毎学期、『教育相談』を行っています。児童一人一人と個別に話すことを通じて、児童との信頼関係を深め、不安や悩みの解消につなげたいと考えています。また、「アンケートQ.U」を活用し、子どもたちの学校生活における満足度と意欲、さらに学級集団の状態を把握し、学級経営や個別の支援につなげていきます。高山小の子ども達にとって充実した学校生活を送れる環境を整えたいと考えています。ご家庭でもこれまで同様、何かご心配な様子がありましたら話を聞いていただけたらと思います。

来年度に向けて（一日入学 一年生）

二月三日（月）、一日入学がありました。体調不良者も何人かいて、全員の顔合わせにはなりませんでしたが、どうやったら新一年生が喜んでくれるか自分たちで考えながら準備をし、この日を迎えました。

自己紹介から始まり、クイズ形式で学校の紹介、読み聞かせ、手作りおもちゃで遊ぶ、プレゼント渡しとプログラムは進み、和やかに四〇分の交流が終わりました。緊張もあったと思いますが、誰もが役割を果たし、上手にかかわっていました。この会の準備・運営を通して二年生になる準備がまた一つ進んだようです。



本物に学ぶ豊かな体験事業（プログラミング学習出前授業 五・六年）

一般財団法人いわみプログラミング少年団の方に来ていただき、算数の学習におけるプログラミング学習を行いました。

プログラミング学習は、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動です。課題を解決するために、失敗を繰り返しながら解決方法を思案することによって様々な力が身につきます。ソフトを使い、キャラクターを動かして目的にあった図形を描きます。プログラムの内容や順序を変更しながら挑戦していました。



委員会活動（生活委員会・図書委員会）

令和六年度の委員会活動も残すところ二週間となりました。三月の五日には、新メンバーでのスタートとなります。「最後にもみんなが楽しめる事を！」と考え、企画・実行しました。生活委員会は、これまで好評だった「マッスルフェスティバル」を行いました。今回は四つの運動ブースを用意し、高山っ子班でいろいろな運動を楽しみました。図書委員会は、「としよかんライオン」の読み聞かせを行いました。挿絵が見やすいようにモニターに映し、台詞の部分は声を変えながら工夫して行いました。



リスペクト

先日、日本人で初めてアメリカ野球殿堂入りをしたイチロー選手のインタビューの様子をニュースで見て、感動しました。殿堂入りを決める投票で、満票に一票足りなかったことに対して、

「一票足りないというのは、凄く良かったと思います。しかもジーターと一緒に。足りないものを補いようがないですけど、努力とかそういうことじゃないからね。いろんなことが足りない。人って。それを自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが人生だと思うんです。これとそれはまた別の話なんですけど、不完全であるというのはいいなって。生きていく上で不完全だから進もうとできるわけです。そういうことを改めて考えさせられるというか、見つめ合える。そこに向き合えるのは良かったなと思います」と話していました。野球が好きで、極めるためにいつまでも追い続けるイチロー選手らしさを感じるとともに、その姿勢は、教員として、人として見習いたいと思いました。

入賞 おめでとう（敬称略）

◇島根県版画展（一、二年のみ出品）

【優良賞】一年 飯田健登 小笠原綺萌 森下敬心

【優良賞】一年 和田昭人

◇大田市読書ノートコンクール

【特選】二年 石原京佳 北野愛菜 平 釉那 森下喜久

【特選】二年 芝尾成海 平 釉那

◇しまね小中学生新聞コンクール

【優秀賞】二年 日向心優 六年 芝尾知紘

【入選】二年 平 釉那

【入選】二年 北野愛菜